大会名 Competition	第７０回　秋田県男女総合バスケットボール選手権大会 兼第７０回　東北男女総合バスケットボール選手権大会秋田県予選大会
男子決勝	Year　Month　Day　Time 2015　年　10 月　4 日　12 ： 00
場 所 Place	大館市樹海体育館

秋田県バスケットボール協会

チームＡ		チームＢ
ＪＲ東日本秋田	12 1st 24 13 2nd 20 30 3rd 19 12 4th 13 OT	能代工高
67 ●		76 ○

主審:Referee
久米　克弥　秋田
副審:Umpire
高橋　元　秋田
菅原　道雄　秋田
ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙｽﾞ:Table officals
大館北秋田バスケットボール協会

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
0	×	畠山　純也	12	3	1	1	3
1	／	若月　徹	0	0	0	0	0
3	／	斉藤　奨	0	0	0	0	1
7	×	工藤　紘介	2	0	1	0	1
9	×	石橋　拓 CAP	11	0	5	1	1
11		一戸　祐也	－	－	－	－	0
12	×	根岸　城二	10	0	5	0	4
13	／	佐藤　哲郎	2	0	1	0	0
18		佐々木　恭	－	－	－	－	0
24	／	高橋　純	16	0	7	2	1
26		平塚　貴将	－	－	－	－	0
33	×	佐藤　光	14	2	4	0	3
55	／	菅　佑喜	0	0	0	0	1
			－	－	－	－	0
			－	－	－	－	0
			－	－	－	－	0
			－	－	－	－	0
			－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		柿崎　智弥					
Aｺｰﾁ		黒政　成広					
合計			67	5	24	4	15

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	盛實　海翔 CAP	16	0	6	4	0
5	×	中村　碧杜	2	0	1	0	4
6	×	斉藤　大輔	13	0	5	3	3
7	×	小室　望海	34	5	7	5	2
8	×	大高　祐哉	11	2	1	3	3
9		髙畑　陸	－	－	－	－	0
10	／	金久保　翔	0	0	0	0	0
11		柴田　一真	－	－	－	－	0
12		冨樫　優汰	－	－	－	－	0
13		植村　太一	－	－	－	－	0
14		山田　柊人	－	－	－	－	0
15		児玉　海渡	－	－	－	－	0
16		山田　魁都	－	－	－	－	0
17		熊谷　弥高	－	－	－	－	0
18		長濱　宏治郎	－	－	－	－	0
19		石田　淳	－	－	－	－	0
20		守屋　健次郎	－	－	－	－	0
21		守屋　壮次郎	－	－	－	－	0
ｺｰﾁ		栄田　直宏					
Aｺｰﾁ		杉沢　政					
合計			76	7	20	15	12

※×:ｽﾀｰﾀｰ　／:交代選手　PTS:ﾎﾟｲﾝﾄ　3P:3Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　2P:2Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　FT:ﾌﾘｰｽﾛｰ　F:ﾌｧｳﾙ

男子決勝は、３連覇を狙うＪＲ東日本秋田と、８年ぶりの優勝を狙う能代工業高校の対戦となった。

第１Ｑ、両チームとも堅さが見られる出だしであったが、ＪＲ東日本秋田＃９がゴール下を決めて先制する。能代工業も＃７の３Ｐですぐさま逆転。その後お互い点数を取り合うが、攻守の切り替えが速い能代工業が＃７や＃６の活躍により、２４－１２とリードして第１Ｑを終える。

第２Ｑ、ＪＲ東日本秋田はゾーンディフェンスに変えるも、なかなかペースをつかめない。タイムアウトを請求するも流れは変わらず、能代工業＃７の連続３Ｐが決まったところで、ＪＲ東日本秋田は２回目のタイムアウト請求。しかし、それでも流れは変わらず、能代工業＃８の活躍などで、４４－２５と能代工業が１９点をリードして前半を終える。

第３Ｑ、ＪＲ東日本秋田は、体格差を生かし＃３３や＃１２が、ゴール下で力強く攻め始める。対する能代工業も＃４の速攻を主体とした攻撃で応戦する。点の取り合いが続く中、ＪＲ東日本秋田＃９の活躍により、６３－５５と点差を一桁にして第３Ｑ終了。

第４Ｑ、お互い堅いディフェンスで、開始３分間、無得点の状態が続くが、能代工業＃７がドライブからフリースローを得た際に、ＪＲ東日本秋田が１回目のタイムアウトを請求する。その後、＃０の連続３Ｐで５点差とするも、リバウンドやルーズボールに粘り強く絡んだ能代工業が、フリースローなどを確実に決め、７６－６７と逃げ切り、８年ぶり１１回目の優勝を決めた。

文責　【　岡部賢哉(大館北秋田協会)】